2024 年度「授業についてのアンケート」
自由記述欄に寄せられたご意見・ご要望に対する回答

はじめに

2024 年度「授業についてのアンケート」へご回答いただき、ありがとうございます。学生のみなさんから寄せられたご意見・ご要望のすべてにお答えすることはできませんが、地域行政学科として可能な範囲で回答いたします。

1. 授業について

第二外国語に興味がなく学ぶのが辛いとのご意見がありました。現在、地域行政学科は英語以外の外国語が第二外国語として必修科目となっていますので、辛くとも単位を習得しなければ卒業することができません。外国語を学ぶことは、たんにその言語だけでなく、その言語が使用される国や地域の文化・伝統について学ぶことでもあります。広い視野をもって自分の関心との接点を見出し、学習のモチベーションを高めてください。地域行政学科所属の語学教員に相談してみることも、ひとつの手であるでしょう。

公欠の扱いに関するご質問もありました。欠席が公欠として認められるかどうかは学則に従って決まるわけですが、個々のケースに応じた実際の運用については、授業開始後の早い段階で担当教員に直接確認することをお勧めします。

テスト結果の詳細が知りたいとのご要望もありました。採点後のテストやレポートの返却は教員ごとに実施状況が異なるかと思えます。大規模クラスとなると全員への返却は物理的に難しいこともあります。どうしても結果の詳細が知りたい場合は、担当教員に返却を希望してみてください。

2. その他

教室・学内設備環境、学費、喫煙マナーなどについても、ご意見・ご要望をいただきました。より近い場所への駐車場（立体駐車場を含む）の設置、駐車場利用時間の拡大、学費の値下げ、Wi-Fi 環境の改善、学食の増席、仮眠室の設置などは、地域行政学科として確約できるものではありませんので、回答は控えさせていただきます。

キャンパス内での喫煙マナーの低下（喫煙所の状況の悪化、喫煙所外での喫煙、吸い殻のポイ捨て）については、大学として対応するように関係部署に働きかけます。

教室の空調については、小規模クラスの授業では教員も出席者と体感温度を共有しやすいので空調に配慮できますが、大規模クラスの授業になると、教室内のどのあたりの人たちが寒く感じているのかまでは、なかなか配慮が行き届きません。挙手をして担当教員に寒いとの旨を伝えるなどして、空調の調整や席の移動を求めていただければ幸いです。

身障者用の座席に座っている学生がいるとの意見もいただきました。その座席を利用すべき該当者がいるにもかかわらず座席を占拠している学生がいるとすれば、由々しき問

題です。教員としても学生相談室との連携を深め、配慮学生に対してきめの細かい対応ができるように努めます。

おわりに

地域行政学科では、「授業についてのアンケート」に限らず、学生のみなさんからのご意見・ご要望をつねに受け付けております。学科長やアカデミックアドバイザー、科目担当教員に気軽に声をかけてみてください。一緒に学びのためのよりよい環境を作っていきましょう。